



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2018年2月 No.429
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『一期一会』 国際会長 : 『ともに、光の中を歩もう』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ』 中西部部長 : 『未来には希望がある』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 松浦 孝次 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 坂本 千春 Y 連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of February

「主よ、いつ私たちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか」

(マタイによる福音書 25章37節)

川の上の駅

大村 肇

駅が川の真上にありホームから澄んだ水が見える。よそから来た人には珍しい駅で、それが私の住んでいる「阪神武庫川駅」です。この駅の歴史は古く、明治38年に営業開始した当時は川の土手に駅があったようですが、電車の連結が増えていき、昭和の初めに川の上に駅ができたようです。ホームから春は桜、夏は風を楽しめる。釣り人も見え、都会での一息にはもってこい。ただ問題は、冬です。風が上下横から、雪が下から舞う、このところの厳しい寒さの中、出かけるのは大変つらいものがあります。先日、NHKの「プラタモリ」でこの武庫川の支流の宝塚の話が出ていました。この川は、昔から氾濫を繰り返し、災害をもたらす暴れ川でした。いまは、治水工事が行われ穏やかな流れにはなっています。武庫川駅には、もともと母の実家があり、そこに転居して早30年になります。幼少のころ母に連れられ実家に帰った時、電車を降りようとしたら下に川が流れていて怖かったことを思い出します。そんな「武庫川駅」をご紹介します。

February Club Meeting

『TOF/CS/FF』

2月第1例会 (TOF)

- 日 時 : 2018年2月21日 (水) 18:30~20:30
 場 所 : 大阪YMCA会館4F403号室
 司 会 : 大村 肇 君
- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 開会 | 三浦 直之 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 山田 孝彦 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 三浦 直之 会長 |
| 5. 今月の強調月間 | 坂本 千春 メネット |
| 6. ティータイム | 一同 |
| 7. 卓話「ミャンマーでのボランティア活動」 | 中村 隆幸 君 |
| 8. お茶会 1/29 報告など | 山中 秀男 君他 |
| 9. 誕生祝い | 一同 |
| 10. 閉会 | 三浦 直之 会長 |

※2月例会のティータイムでは、ケーキ菓子と飲み物が出ます。
 会費 500 円。その他 CS 目標額は当選切手 12シートか
 現金 1,500 円。ワンコイン 5 千円。

お誕生日 :

- 1月 = 中村幸枝メネット、三浦メン、中村茂メン、中井祥子メネット、藤井メン
 2月 = 石津メン

2月第2例会

日時 : 2018年2月28日 (水) 18:30~20:30
 場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

1 月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 20名	メ ン	12名	8名	1月	0円
例会出席 15名	メネット	2名	0名	現 金	0円
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	
0名	ゲ ス ト	0名	0名	切 手	204g
出席率 75%	合 計	14名	8名	現 金	0円
					1月: 0円
					累 計: 79,695円
					お-カ-ヨ-: 24,100円

イースター（今年は4月1日）の前46日間（日曜日を別にすると40日間）をレント（受難節）と言ってキリストの苦しみと十字架の死を記念する期節としています。この期間は、お祝いごとや派手な楽しみはなるべく避けて克己の時とするのだそうです。レントの始まる日（今年は2月14日）を「灰の水曜日」と言い、大体2月になります。ワイズで2月をTOF (Time of Fast 断食の時) の月とするのは、このことから来ているのではないかと思います。

選んだ聖句は、イエスが語られた例え話の中の言葉ですが、我々が飢えた人々、渴いた人々にすることは、「私にしてくれたことだ」と神が言っています。そのことを覚えつつ、このTOFの月を過ごしたいものです。（聖句選/コメント：山田 孝彦）

1月第1例会(中西部合同新年会)

とき：2018年1月20日（土）12:00～15:00

ところ：大阪YMCA会館2階・ホール

中西部合同新年会が、大阪高槻クラブのホストで85名が参加し開催されました。大村肇中西部部長＝写真の開会点鐘で始まり、末岡祥宏・大阪YMCA総主事らゲストのスピーチの後、三島高校ジャズダンス部＝写真下＝によるパフォーマンスが行われ、若さいっぱい、はちきれんばかりのステージに圧倒されました。レベルの高い演技に惜しめない拍手が送られました。懇親会では、おいしい弁当とお酒に舌鼓を打ちながら、交流の時間を持ちました。昼食後、ビンゴゲームが行われ、日本酒などの景品目当てもあり、大いに盛り上がりました。



≡≡≡≡ Club Activities January, 2018 ≡≡≡≡

We gathered at the Osaka YMCA on January 20, 2018 to celebrate the New Year of Y's Men's Midwest District – where more than 85 members and their spouses, together with guests coming from the other districts met.

As has been the customary in the past, the 2018 New Year ceremony took place. Greetings were exchanged among Y's friends and Y members coming from different parts of Western Japan.

Then followed by modern Jazz dance performance

conducted by Mishima Senior High Dancing group, which was very lively and full of energy.

It was a lot fun watching young students performance. We also enjoyed conversation over the Japanese style gourmet lunch boxes served. Bingo games were also held after lunch, which was thrilling to see who won the limited number of prizes available.

We are sorry to see the number of our Y's members declining in our district as well as they get older. Yet the spirit is high and they enjoyed good fellowship. We strongly felt we must try hard to recruit more young members to strengthen our activities.

By KAN TANIGAWA



谷川 寛

昨年11月、「観光事業人材育成」をテーマにした授業を担当しました。最近の海外からの来日観光客の増加に、私も驚いています。訪日外国旅行者の数は、2016年2400万人に増加し、その旅行消費額も4兆円近くなりました。いずれも過去最高となり、今年もこの流れは堅調だそうです。日本政府もこの分野の人材育成に力を入れており、JICAも日本の「おもてなし」を招聘テーマにプログラムを組みました。英語で、これを”Human Resource Capacity Development on Japanese Hospitality”と銘打っています。今回の参加者の中に珍しい国々—南太平洋のMarshall Islandsや、インドネシアから独立したTimor-Leste、そして、Bosnia/Herzegovinaの参加がありました。いずれも開発途上の国々ですが、将来観光事業で海外から客を惹きつける魅力を秘めた7カ国の人々が対象でした。下の写真をごらんください。写真左端がMarshall Islandsからの若者Reynold Kaminagaさん。彼の祖先は日本人で、明治に日本から移住したそうです。祖父は同国からの初代駐日大使でした。(写真の真ん中はTimor-LeasteからのSoares Doutelさん。

右の端は、Bosnia/HerzegovinaからのGalic Marijanaさんです)

この国の首都はサラエボ。この地名で何を思い出しますか？サラエボ事件です。第一次世界大戦の導火線となった場所です。彼女に夕食の折、その話をしましたら、下の写真を送ってくれました。1914年6月、Gayの若者が、ちょうどこの橋に差し掛かった当時のオーストリアのArchduke Franz Ferdinandを暗殺、第一次大戦の発端となりました。橋の袂の壁が剥がれているビルは、その事件のミュージアムになっているそうです。いずれの国々も海外から観光客を惹きつける魅力を持っています。今回の研修を経て、彼らがリードして近い将来観光立国になることを期待したいものです。



1月第2例会報告

と き：1月24日(水) 18:30~19:45

ところ：大阪YMCA会館4F

出席者：石津、大村、岡本、芝田、何、中村茂、山田、三浦の各メン

〈クラブ活動〉

- ・センテニアル懇親会 2/11(日) 12(月・祝) ダイアモンドクラブ有馬温泉ソサエティ本館
- ・ファミリーコンサート 5/12(土) 14:00~16:00 大阪YMCAホール 打ち合わせ 2/7(水) 18:30Y
- ・3月例会 3/22(木) 卓話「介護が始まったら？」藤井まどかさん

〈検討課題〉

- ・次期役員の選出 ネット会長=山中ちあき ネット

〈その他〉

- ・中西部・ネットアワー 2/17(土) 14:00~16:00 大阪YMCA10F101号室 無料 ネットでスコーン販売予定 1/31までに北村主査に報告
- ・ワイスのうなぎの森 5/20(日) 10:00~14:00 神峯山寺

(第2例会議事録より抜粋)

YMCA ニュース

☆第298回 早天祈祷会

日時：2018年2月16日(金) 7:30~8:30

証し：井之上 芳雄さん(和歌山YMCA総主事)

場所：大阪YMCA会館10階チャペル

☆「いじめのない世界をめざそう」YMCA ピンクシャツデー2018

今年も全国YMCAと共にピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)を実施いたします。

2月28日(水)当日に向けて、YMCA各拠点にて、ピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることでいじめ反対をアピールしていきますので、ご協力をお願いいたします。

世界的な「いじめ」反対運動に連なり、地域社会や他団体・企業・行政とも協働して、広く、推進してまいります。

ピンクシャツデー…2018年2月28日(水)

※取り組み期間…2018年1月~3月3日(土)

詳細はぜひ「大阪YMCA ピンクシャツデー」で検索!

船戸 輝久

インターナショナルハイスクールお茶会

デンマークの高校生たちも感激！！

三浦 直之

YMCA インターナショナルハイスクールの国際交流プログラムの一環で、デンマークの高校生 22 名とインターナショナルハイスクール 2 年生 18 名とが交流活動をし、今年は「伝統と宗教」をテーマとし、生徒から“お茶会の体験”を是非したいとのことで、センテニアルへ依頼があり、1 月 29 日（月）10：00～11：45、YMCA302 号教室で 40 名の生徒を対象に体験学習を行いました。YMCA の金野さんのセンテニアルの紹介の後、山中メンの英語での“お茶とは”の講習があり、続いて中村メネットにより、実技の指導がありました。そして、各自お菓子とお茶（1 杯目はこちらで用意）を見よう見まねの作法でいただきました。2 杯目は自分で茶筌を回してお茶をたて、お茶を体験しました。山中メンの講習にありまして、お茶の精神（一期一会やお互いを敬う気持ち等）を少しでも理解し、日本文化に興味を持ってもらえれば、私たちとしても大変うれしいです。そしてデンマークの生徒さんたちと交流が深まることを願っています。当日、参加していただいたセンテニアルのメンバー（山中メン、山中メネット、中村メネット、坂本メネット、石津メン）、お菓子、お茶碗等の準備をしていただいた YMCA の先生方、誠に有難うございました。又、次回もよろしくお願いいたします。



“土佐堀 YMCA クリスマス献金”

チャリティーボウリング大会、快挙！！

三浦 直之

1 月 27 日（土）17：30 から桜橋ボウル（梅田）でチャリティーボウリング大会が開催され、約 48 名が参加しました。1 チーム 4 人、2 ゲームトータルで点数を競い、センテニアルチーム（大村、芝田、三浦、花本（インターナショナルハイスクール））は 2 位（昨年も 2 位）でした。

1 位はインターナショナルハイスクール先生チームで、インターナショナルハイスクール生徒チームは“若者活躍賞”を、個人賞は大村メンが優勝（トータル 297 点の高得点で）しました。それぞれの好成績、誠におめでとうございます。

後 記

日本列島に強い寒気到来。各地で雪による交通マヒやトラブルが多発。インフルエンザは猛威をふるっています。春のあたたかさが待ち遠しいこのごろです。

・あたたかい日には、会社に行くとき、甲子園から武庫川駅まで歩きます。昭和の初めに、すでに川の上に駅があったというのは驚きでした。

・訪日外国旅行者の多さにはびっくりしますが、日本の観光を学びに来る国々の人たちにとっても、また大事なおもてなしです。

・インターナショナルハイスクールのデンマークの高校生たちへのお茶会、私たちのクラブらしい、すばらしい「おもてなし」でした。

・ボウリング大会も昨年に続いての 2 位、個人賞の大村メン、皆さんすばらしい。

Shige

